

（31）物産展示場

1）施設概要

① 設置目的等

- ② 本施設は越谷駅北側の高架下に設置されています。以前は、伝統的手工芸品等の展示のみを行っていましたが、越谷ツインシティ内にある市民活動支援センターに観光・物産情報コーナーが設置されたことに伴い、平成24年に改装を行い、市の伝統的手工芸品のほか、こしがやブランド認定品の一部販売を行う施設として生まれ変わりました。



物産展示場

また、本施設では、販売だけではなく、市内の観光パンフレットやポスターを設置し、市民活動支援センターの観光・物産情報コーナーと連携して市の観光・物産のPRを行っています。

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
物産展示場	弥生町505番地2	24.00	平成10	鉄筋コンクリート造	

③ 開場時間・休場日・開場日数

開場時間	休場日	開場日数
午前10時～午後7時	月曜日（ただし、月曜日が国民の祝日の場合はその翌日）、年末年始	298日

④ 事業内容

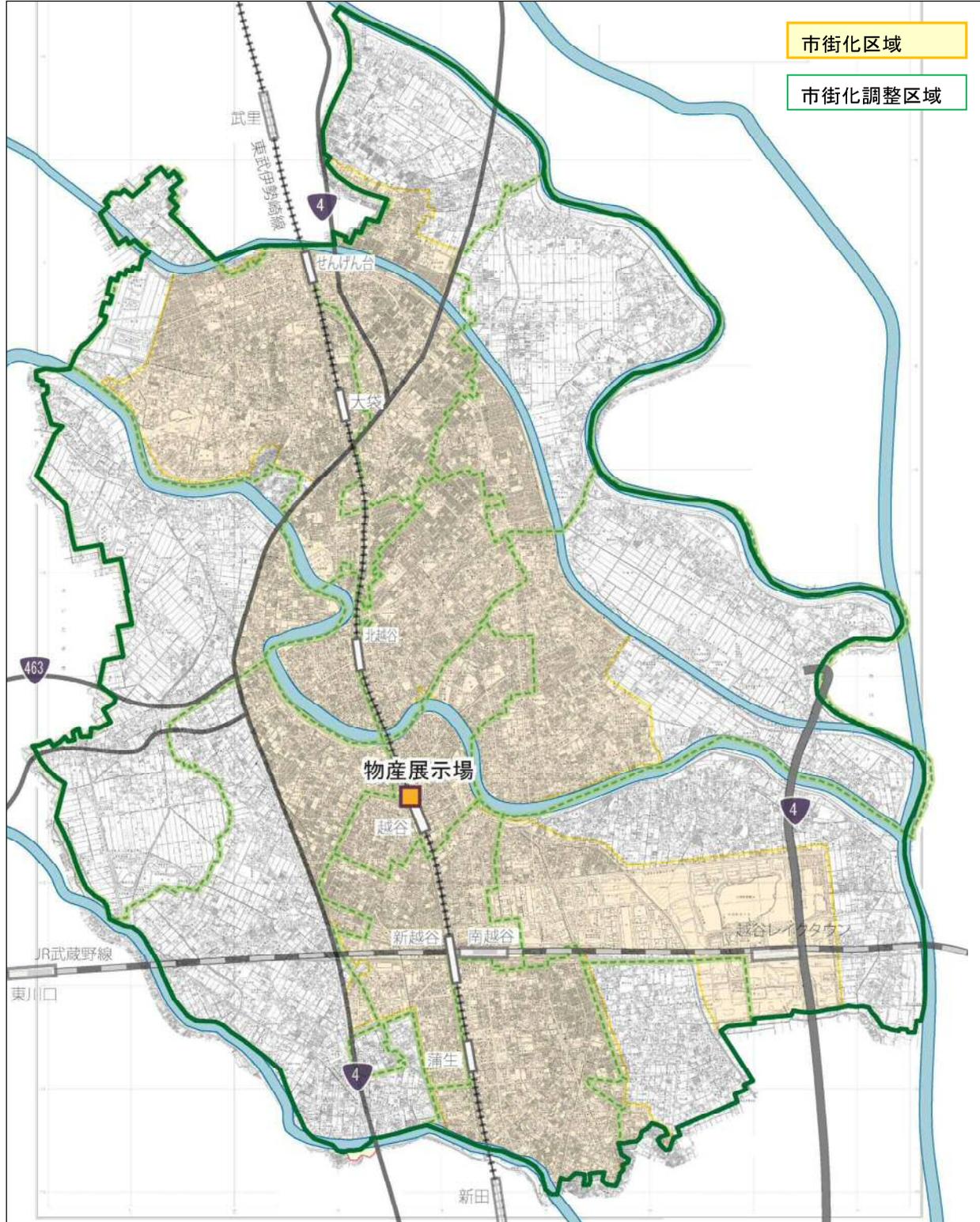
本施設では、「だるま」「せんべい」「ひな人形」「桐箱」などの伝統的手工芸品や、市内で製造や加工された優れた商品を認定したこしがやブランド認定品などを展示販売しています。

また、本施設の運営は、越谷市商工会が行っています。

⑤ 配置状況

本施設は、東武鉄道伊勢崎線越谷駅北側の高架下に設置しています。

物産展示場位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 物産展示場のスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応				
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修または直近の築年数は経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
物産展示場	平成10	24	不要	15		15	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—

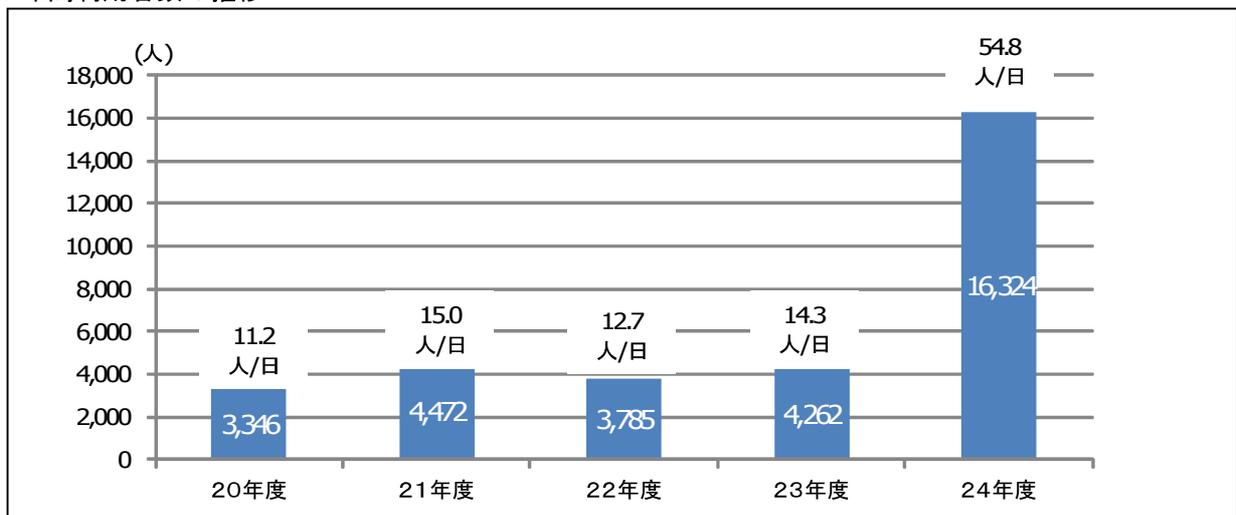
記載例	実施済み : ○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	未実施 : ×	
	不要 : —	

本施設は高架下に設置され、面積も24㎡と小さな施設であることから、施設に対する大きな課題はありません。

② 利用状況

本施設は、平成24年度にリニューアルしたため、平成24年度の年間利用者数は約1万6,000人（1日当たり約55人）と、平成23年以前（1日当たり約11人から15人）と比較して大幅に増加しています。

年間利用者数の推移



3) コスト状況

■ 物産展示場のトータルコスト

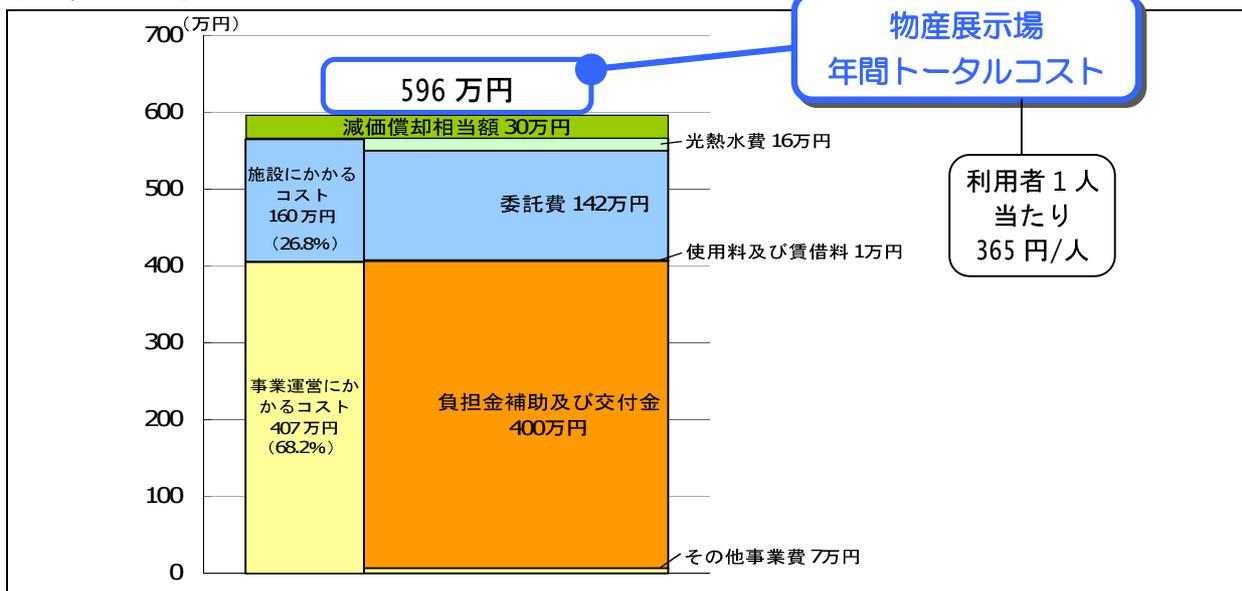
本施設の年間トータルコストは、約 600 万円です。主な費用は施設の運営を依頼している越谷市商工会に支払う補助金 400 万円となっています。

区分別では施設にかかるコスト（光熱水費・委託費・使用料及び賃借料）が約 160 万円、事業運営にかかるコスト（補助金等）が約 410 万円、減価償却相当額が約 30 万円となっています。

行政コスト計算書 (円)

I.現金収支を伴うもの		物産展示場
<b>【コストの部】</b>		
施設にかかるコスト	光熱水費	162,437
	委託費	1,423,380
	使用料及び賃借料	11,550
	施設にかかるコスト計…A	1,597,367
事業運営にかかるコスト	負担金補助及び交付金	4,000,000
	その他事業費	68,127
	事業運営にかかるコスト計…B	4,068,127
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		5,665,494
<b>【収入の部】</b>		
収入合計…②		0
II.現金収支を伴わないコスト		
減価償却相当額…③		296,646
III.総括		
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		5,962,140
収支差額(④-②)		5,962,140

トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

#### 4) まとめ

- 本施設は、耐震性能などに問題はありません。
- 運営は、越谷市商工会に補助金を交付し、事業推進を支援しています。
- 年間の利用状況は平成24年度に従来の展示機能に加え、販売機能、観光案内機能を付加したことに伴い、これまで1日あたり13人程度であった利用者数が、約55人と大幅な増加となっています。コストは、商工会への補助金が全体の67%をしめています。
- 今後の課題としては、市の観光・物産の更なるPRを図るための拠点施設として、更なる利用者の増加に取り組む必要があります。

（32）公共駐車場

1）施設概要

① 設置目的等

本施設は、越谷駅の利便性の向上や新たなにぎわいの創出を目的として、越谷駅東口周辺の整備のために実施した再開発事業により建設された、越谷ツインシティビルのB棟＝Bシティに隣接する駐車場です。ツインシティや東武鉄道の利用者等が利用しており、収容台数は409台となっています。



越谷駅東口駐車場

また、施設内には無料で充電できる電気自動車用の急速充電器1台のほか、障がい者用駐車スペースが7台あり、障がい者用駐車スペースのうち3台は、妊婦やケガをしている方なども優先的に利用できる「おもいやり駐車スペース」となっています。

施設一覧

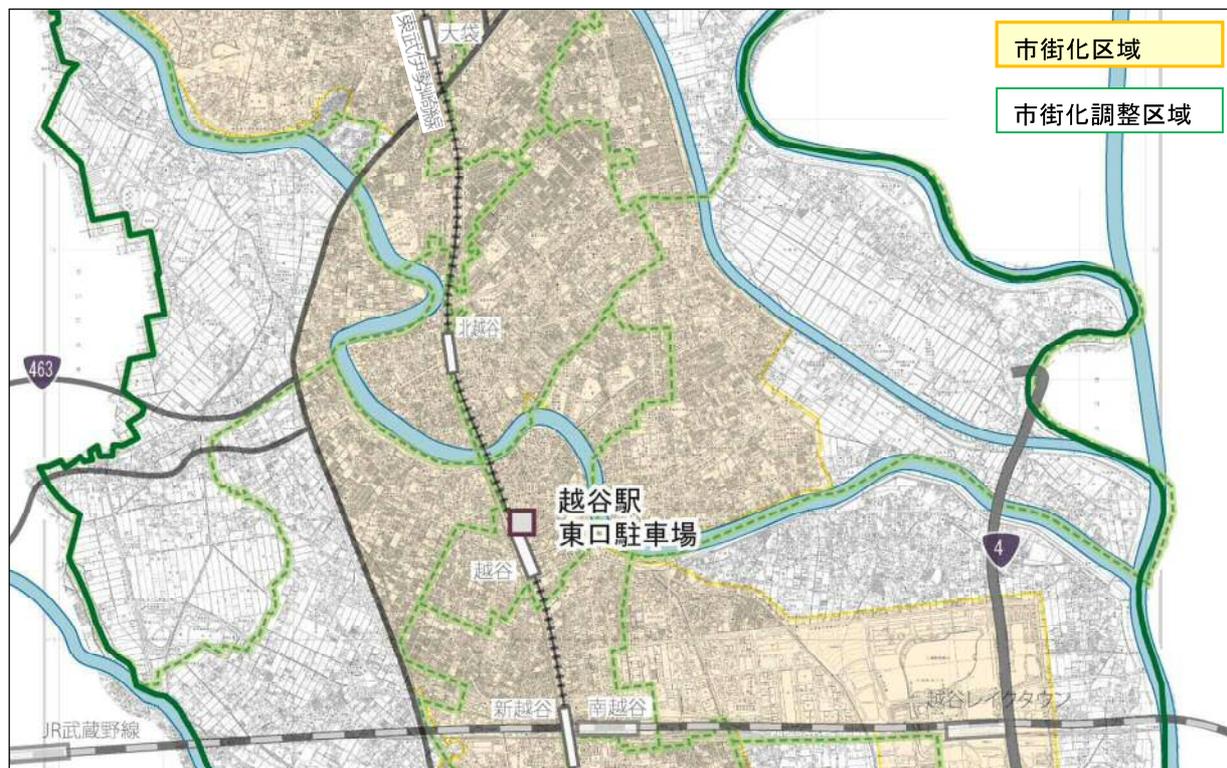
名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
越谷駅東口駐車場	弥生町16番3号	9,989.13	平成24	鉄骨造	

② 事業内容

本施設は指定管理者制度を導入しており、年中無休、24時間利用ができる駐車場です。普通自動車や二輪自動車等が利用でき、時間貸のほか普通自動車は月極の利用も可能となっています。

③ 配置状況

公共駐車場位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 公共駐車場のスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスペスト	バリアフリー対応					環境対応				
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスペストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
越谷駅東口駐車場	平成24	9,989	不要	1		1	—	○	—	○	—	○	×	○		○	×

記載例	実施済み : ○
	未実施 : ×
	不要 : —

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置  
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

本施設は、建築年度も新しく建物の安全性上の問題はありませぬ。また、バリアフリーへの対応もしていますが、今後は環境対応設備の導入が求められます。

② 利用状況

本施設は越谷駅東口第一種市街地再開発事業により、平成24年6月に開設された施設であり、平成24年度(10ヶ月)の利用台数は、普通自動車6万6,225台、二輪自動車190台の合計6万6,415台となっています。また、年間の使用料収入は約2,400万円となっています。

利用台数

(台)

	利用台数
普通自動車	66,225
二輪自動車	190
合計	66,415

使用料収入

(千円)

	使用料収入
使用料収入(普通自動車)	14,417
使用料収入(二輪自動車)	54
回数券販売収入	7,070
プリペイドカード販売収入	101
定期券販売収入	1,891
その他収入	67
合計	23,600

### 3) コスト状況

#### ■ 公共駐車場のトータルコスト

本施設の年間トータルコストは、約6,200万円です。

主な費用としては、指定管理料が約4,500万円、減価償却相当額が約1,500万円となっています。

区分別では、施設にかかるコスト（修繕費等）が約62万円、事業運営にかかるコスト（備品購入費・負担金補助及び交付金）が約140万円、指定管理料が約4,500万円、減価償却相当額が約1,500万円となっています。

トータルコストに対する使用料収入は約2,400万円、受益者負担率は約38%となっています。

#### 行政コスト計算書

(円)

##### I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】		越谷駅東口 駐車場
コストに かかる	施設に かかる	修繕費 494,130
	施設に かかる	その他物件費 129,963
	施設に かかる	施設にかかるコスト計…A 624,093
コストに かかる	事業運 営	車両・備品購入費 529,200
	事業運 営	負担金補助及び交付金 838,600
	事業運 営	事業運営にかかるコスト計 …B 1,367,800
指定管理料…C		45,066,232
現金収支を伴うコスト合計(A+B+C)…①		47,058,125

##### 【収入の部】

収入	使用料収入	23,599,916
	諸収入	0
	収入合計…②	23,599,916

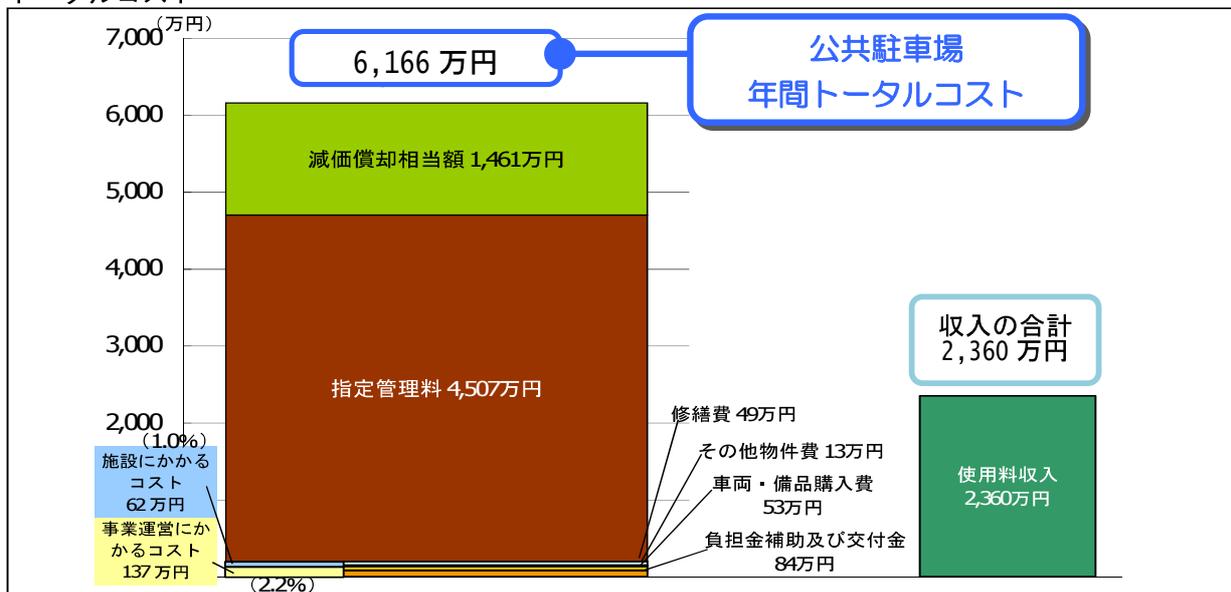
##### II. 現金収支を伴わないコスト

減価償却相当額…③	14,606,350
-----------	------------

##### III. 総括

コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)	61,664,475
収支差額(④-②)	38,064,559

#### トータルコスト



#### 4）まとめ

- 本施設は、耐震性能などに問題はありません。
- 運営は、指定管理者制度を導入しています。
- オープンした平成24年6月から平成25年3月までの10ヶ月の利用台数は約6万6千台と、当初の予想より少ない状況となっています。また、使用料収入は約2,400万円で、受益者負担率は約38%となっています。平成26年度からは利用料金制度を導入し、指定管理者が利用者のニーズに柔軟に対応した価格設定を行うことができるようになったため、利用促進が図られ、今後の利用台数及び使用料収入の増加が期待できます。
- 今後の課題としては、指定管理者と調整を図り、安定的な収益を確保するため、さらなる利用促進と経費削減に努めていく必要があります。

（33）農業技術センター

1）施設概要

① 設置目的等

本市では、都心から25キロに位置する越谷市の地理的条件を活かして、都市における安定的で効率的な農業経営を支援するため、本施設を設置しています。

また、本施設はごみの焼却エネルギーを温水として利用したり、雨水や太陽光などの自然エネルギーを積極的に活用するなど、省資源、省エネルギーを追求した環境に優しい施設となっています。



農業技術センター

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
農業技術センター	増森一丁目69番地	4,392.83	平成9	鉄筋コンクリート造	

② 開所時間・休所日・開所日数

開所時間	休所日	開所日数
午前8時30分～午後5時15分	土曜、日曜日、祝日 年末年始（12月29日～1月3日）	294日

③ 事業内容

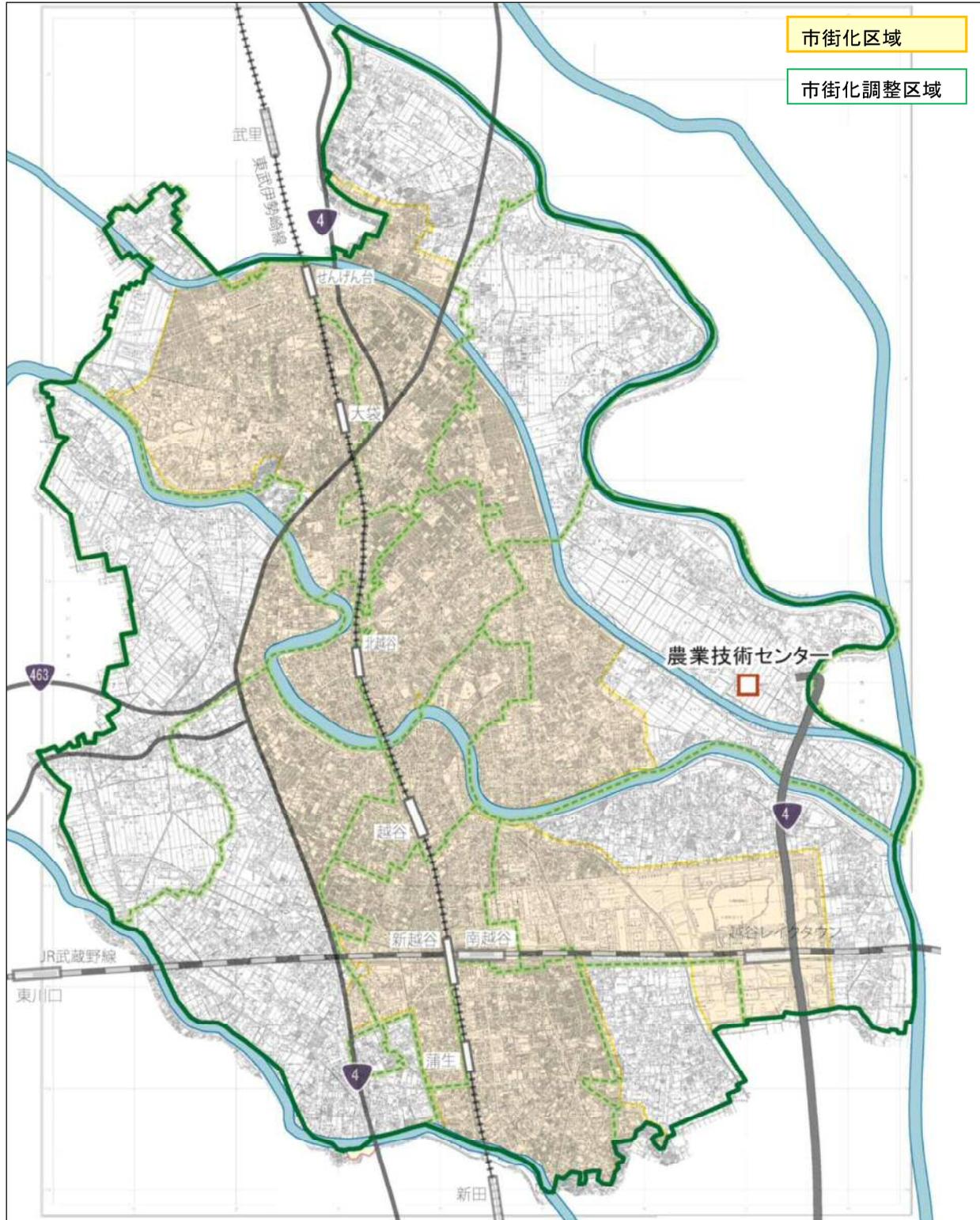
本施設では農業者を支援するため、農作物の品質向上や効率的で安定的な生産等を目的に土づくりの支援や無病菌苗の育成、苗の試験供給、養液栽培技術に関する調査や研究などを行っています。

また、農業後継者の育成及び都市型農業経営の推進を目的に、農家の青年後継者や農業生産法人の社員経験者等に、農作物の栽培技術のほか、「越谷いちご観光農園」の運営を通じ、経営手法や販売などの各種の実習訓練を実施し、第1期生3名、第2期生4名の計7名が研修を修了しました。研修修了後も就農の定着と農業経営の安定化を図るため、講習会の開催やほ場巡回など、技術面・経営面等の支援を行っています。

④ 配置状況

本施設は増林地区に建設されており、周辺にはリユースや市民球場、総合体育館が設置されています。

農業技術センター位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 農業技術センターのスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応			
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等
農業技術センター	平成9	4,393	不要	16	平成22	3	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×

記載例	実施済み：○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	未実施：×	
	不要：—	

本施設は、新耐震基準の建物で大規模改修を実施しており、建物の安全性上の問題はありません。また、バリアフリーへの対応もしていますが、今後は環境対応設備の導入が求められます。

② 利用状況

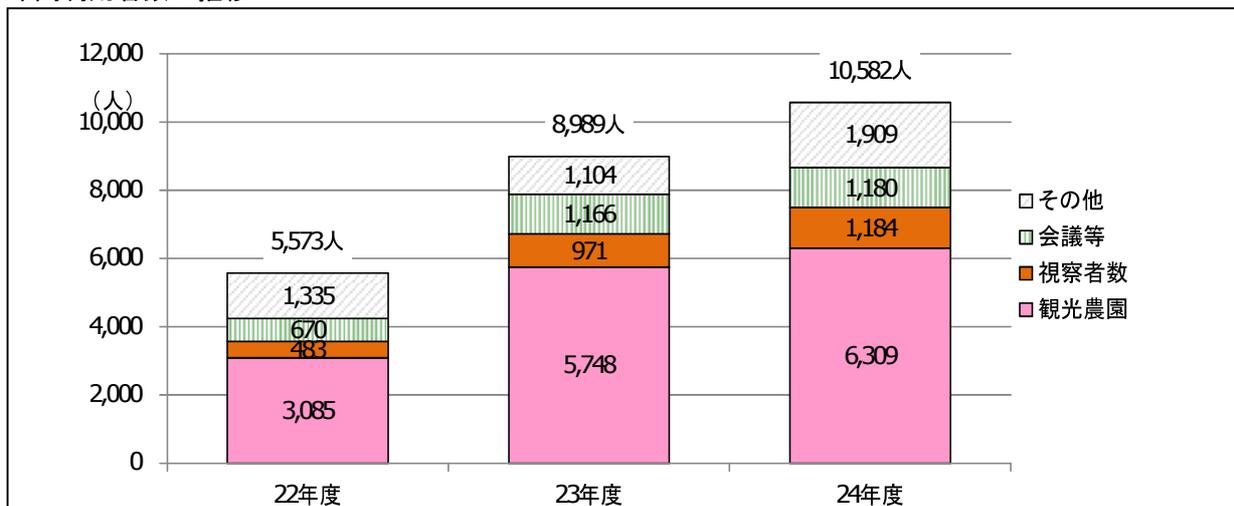
■ 利用状況

本施設の年間利用者数は、平成22年度では約5,600人でしたが平成24年度では約1万1,000人と約2倍に増加しました。

研修事業による観光農園の利用者が平成22年度の約3,000人から平成24年度には約6,300人と2倍以上増加したことが主な要因となっています。

このほか、年間500件～700件の土壌・堆肥・養液分析を行っています。

年間利用者数の推移



3) コスト状況

■ 農業技術センターのトータルコスト

本施設の年間トータルコストは約1億1,000万円です。

主な費用は職員の人件費が約4,200万、農業経営者の育成に係る委託料が2,500万円等となっています。

区別別では、施設にかかるコスト（修繕費・光熱水費・委託費等）が約1,900万円、事業運営にかかるコスト（人件費・委託費等）が約6,800万円、減価償却相当額が約2,600万円となっています。

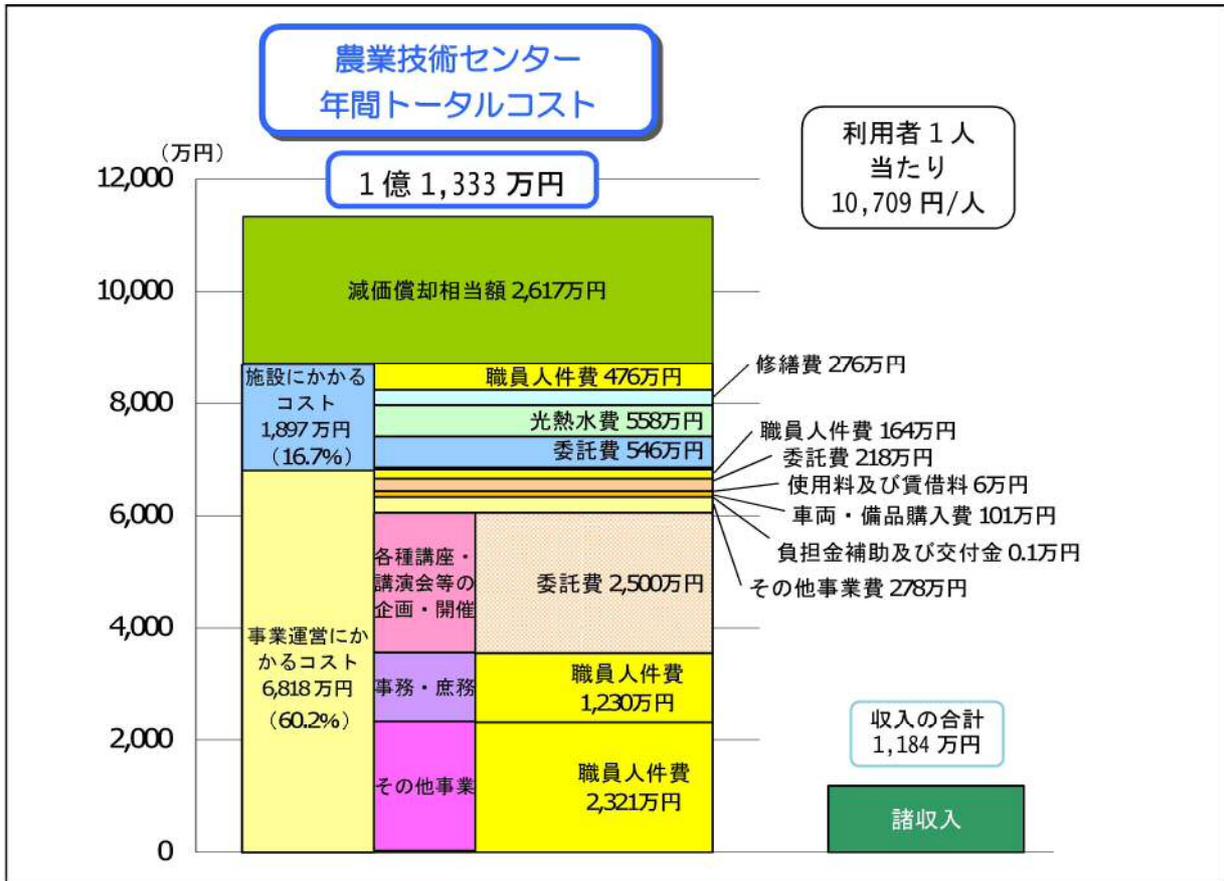
利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、約1万1,000円となっています。

行政コスト計算書

(円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		農業技術 センター
施設にかかる コスト	職員人件費	4,760,000
	修繕費	2,755,000
	光熱水費	5,577,237
	委託費	5,463,633
	使用料及び賃借料	415,628
	施設にかかるコスト 計…A	18,971,498
事業運営にかかる コスト	職員人件費	1,640,000
	委託費	2,181,624
	使用料及び賃借料	63,504
	車両・備品購入費	1,008,000
	負担金補助及び交付金	1,000
	その他事業費	2,777,265
	小計…(ア)	7,671,393
	事業主 委託費	25,000,000
	小計…(イ)	25,000,000
	庶務・業務 職員人件費	12,300,000
	小計…(ウ)	12,300,000
その他 職員人件費	23,208,523	
小計…(エ)	23,208,523	
事業運営にかかるコスト 計 (ア+イ+ウ+エ)…B	68,179,916	
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①	87,151,414	
【収入の部】		
収入	諸収入	11,844,595
	収入合計…②	11,844,595
II. 現金収支を伴わないコスト		
減価償却相当額…③		26,173,838
III. 総括		
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		113,325,252
収支差額(④-②)		101,480,657

トータルコスト



※千円単位を四捨五入しているため、端数処理により、各項目の計が合計にならない場合があります。

4) まとめ

- 本施設は、研究棟については、新耐震基準で建設されており、温室棟については、直近で大規模改修工事を実施するなど、大きな問題はありません。
- 施設の運営は直営となっています。
- 研修事業によるいちご観光農園は観光客数も伸びており、市の観光PRとして大きな役割を果たしていると言えますが、実施期間が限定されており、年間を通じて利用可能な作物の栽培を新たに検討するなど、新しい取り組みが求められます。
- 土壌分析等は現在無料で行ってありますが、今後は利用者に一部料金の負担を求めることについて調査・検討することが考えられます。また、利用条件についても、現在は市内の農業者に限定していますが、広域的な農業振興や利用者拡大を図るには、近隣自治体の農業者の利用や共同運営、民間活力の利用等、効率的な運営を図ることが必要と考えます。

（34）住まいの情報館

1）施設概要

① 設置目的等

本施設は、阪神淡路大震災を教訓として、耐震性や耐久性、耐火性に優れるとともに省エネルギーなど環境との共生を考え、さらに高齢者や障がい者にも配慮した住宅の情報を提供することを目的として設置された施設です。



住まいの情報館

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
住まいの情報館	大字大吉464番地1	210.00	平成11	木造	

② 開館時間・休館日

開館時間	休館日
月曜日、水曜日、金曜日：午前10時～午後3時 土曜日、日曜日、祝日：午前10時～午後4時	毎週火曜日、木曜日、 年末年始（12月29日～1月3日）

③ 事業内容

本施設は、耐震化や環境への配慮がされた設計となっており、普段は見るできない構造材や断熱化工法が可視化できる部分や大規模災害に備えた避難シェルター等を設置しています。

さらに、太陽光発電や雨水利用設備を設け環境に配慮するとともに、高齢者に配慮した屋外スロープや、車椅子の方でも階段の昇り降りが可能な階段昇降機等を施設内に整備し、展示しています。なお、運営は業務委託により行われています。

また、2階にある研修ルームは主に子育て中の人が集まって悩みを相談したり、気軽に楽しく交流できる子育てサロンの活動拠点として利用されています。

④ 配置状況

本施設は新方地区に設置され、目の前には新方地区センター・公民館が建設されています。

住まいの情報館位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 住まいの情報館のスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応			
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2
住まいの情報館	平成11	210	不要	14		14	—	○	○	○	—	○	○	○	—	○

記載例	実施済み : ○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置
	未実施 : ×	※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
	不要 : —	

本施設は、阪神淡路大震災を教訓として建設された施設であり建物面で大きな問題はありません。また、高齢者にも配慮しバリアフリー化や環境対応も図られており、大きな問題はありません。

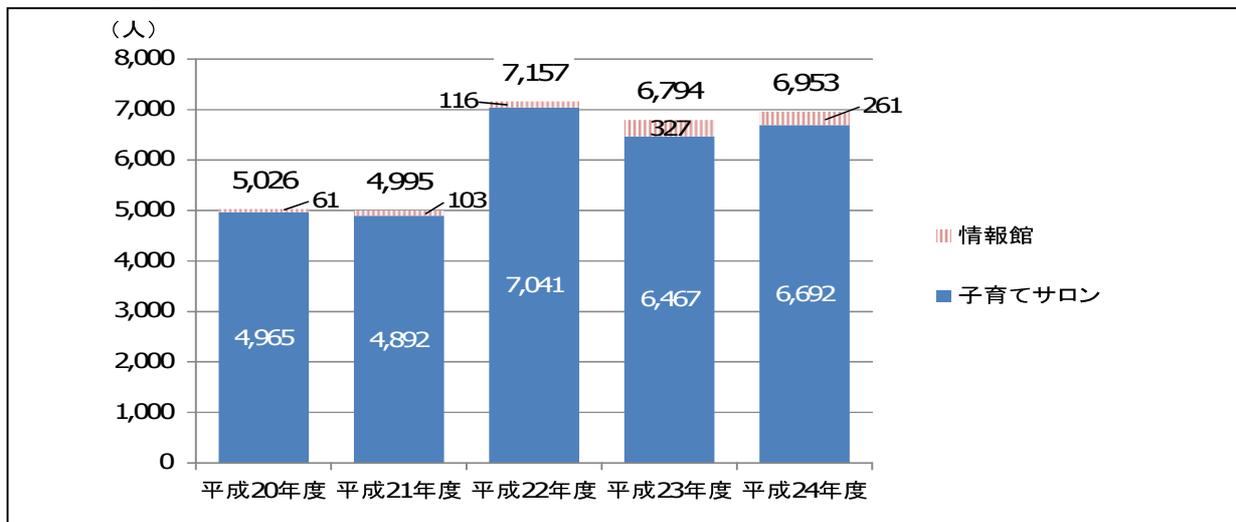
② 利用状況

■ 住まいの情報館

本施設の来場者数の推移をみると、平成20年度では約5,000人でしたが、平成22年度に約7,200人に大きく増加しました。その後平成24年度では約7,000人と平成22年度以降は、横ばいになっています。

内訳をみると、各年度ともに子育てサロンの利用者が9割以上を占めています。

来場者数の推移



3) コスト状況

■ 住まいの情報館のトータルコスト

本施設の年間トータルコストは、約340万円です。

主な費用は施設の委託費が100万円、減価償却相当額が約220万円となっています。運営委託費が全体の約30%を占めていますが、現金支出を伴わない減価償却相当額を除くと全体の約82%となり、維持費の大半が委託費となっています。

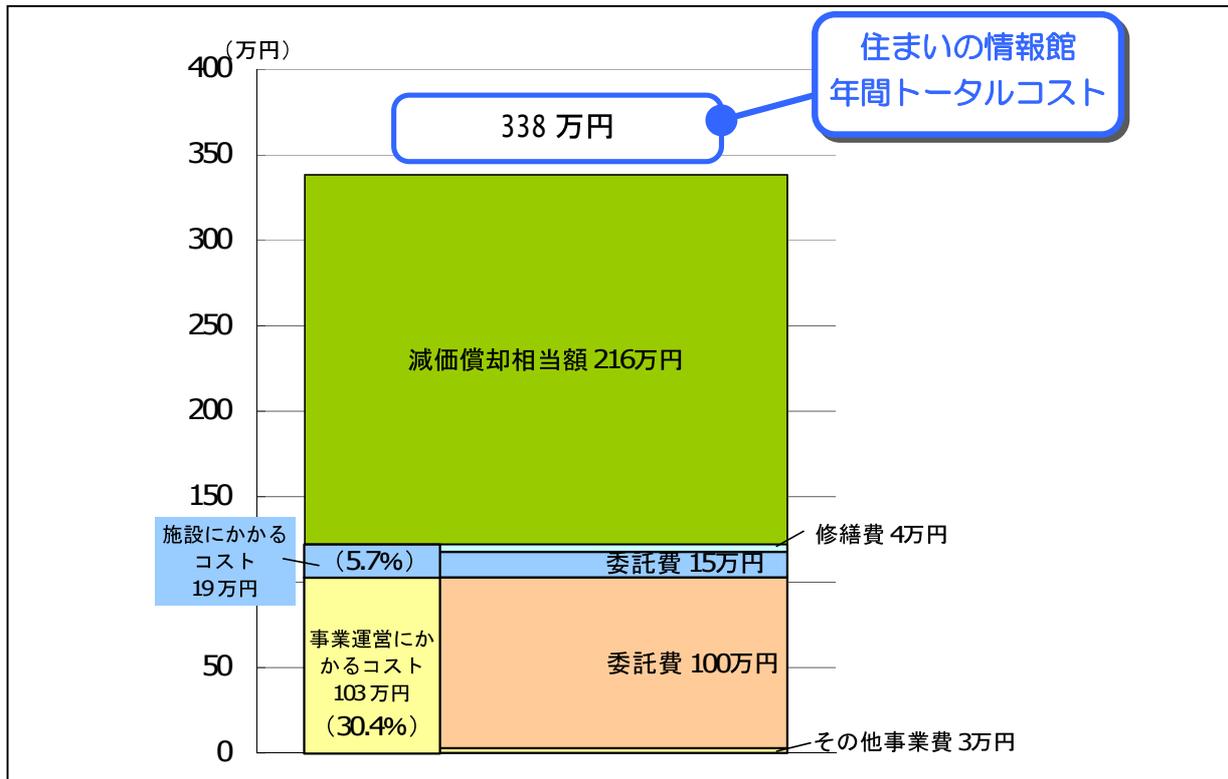
区分別にみると、施設にかかるコスト（修繕費、委託費）が約19万円、事業運営にかかるコスト（委託費・その他事業費）は約100万円、減価償却相当額が約220万円となっています。

行政コスト計算書

(円)

I.現金収支を伴うもの 【コストの部】		住まいの情報館
施設にかかる コスト	修繕費	44,100
	委託費	149,100
	施設にかかるコスト計…A	193,200
事業運営に かかるコスト	委託費	1,000,000
	その他事業費	29,412
	事業運営にかかるコスト計…B	1,029,412
現金収支を伴うコスト合計(A+B)…①		1,222,612
【収入の部】		
収入合計…②		0
II.現金収支を伴わないコスト		
減価償却相当額…③		2,161,952
III.総括		
コストの部合計(①+③)…④ (トータルコスト)		3,384,564
収支差額(④-②)		3,384,564

トータルコスト



4) まとめ

- 本施設は、耐震性能などに問題はありません。
- 施設の運営は、業務委託となっています。
- 年間の利用状況は、平成24年度で約7,000人となっており、その内9割以上は、余剰空間を子育て支援事業の一環として実施している子育てサロンの開催によるものです。
- 年間コストは事業運営にかかる委託費が全体の約36%を占めています。
- 今後は、当該施設の当初の設置目的と実際の利用実態が異なっていることから、運営を含めた施設の効果的な活用を検討する必要があります。

（35）水辺のまちづくり館

1）施設概要

① 設置目的等

水辺のまちづくり館は、越谷レイクタウン地区の開発にあわせて、UR都市機構によって建てられた施設で、平成26年4月1日にUR都市機構より市が無償譲渡を受けました。施設内には、ホールや眺望テラス、市民活動室などが設けられ、大相模調節池を利用する方や地域住民の方の交流・活動の拠点として利用されています。調節池を望むホールには、越谷レイクタウンのまちづくりの情報や木製のカーヌーなどを展示しています。

平成26年4月1日から観光の強化を図ることを目的として、一般社団法人越谷市観光協会に貸付け、同協会が管理・運営を行っています。



水辺のまちづくり館

施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度	構造 (主たる建物)	備考
水辺のまちづくり館	レイクタウン四丁目1番地4	462.93	平成21	鉄骨造	

② 開館時間・休館日

開館時間	休館日
午前9時～午後5時	年末年始（12月29日～1月3日）

③ 事業内容

本施設では越谷レイクタウンのまちづくりの取り組みなど最新の情報を提供するほか、ヨット・カーヌー等の水面利用に係る手続きを行っています。また、ホールや眺望テラス、市民活動室等は利用者や近隣住民の方の交流の場としても活用しています。

④ 配置状況

水辺のまちづくり館位置図



2) 利用実態

① 建物の状況

■ 水辺のまちづくり館のスペック情報

スペック一覧

施設名	基本情報		耐震化	老朽化			アスベスト	バリアフリー対応					環境対応			
	建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修後経過年数	アスベストの除去	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	エレベーター※1	車いす用自動ドア	手すり	点字ブロッック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等
水辺のまちづくり館	平成21	463	不要	4		4	—	○	×	×	×	×	×	○	×	○

記載例

実施済み	○
未実施	×
不要	—

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置  
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

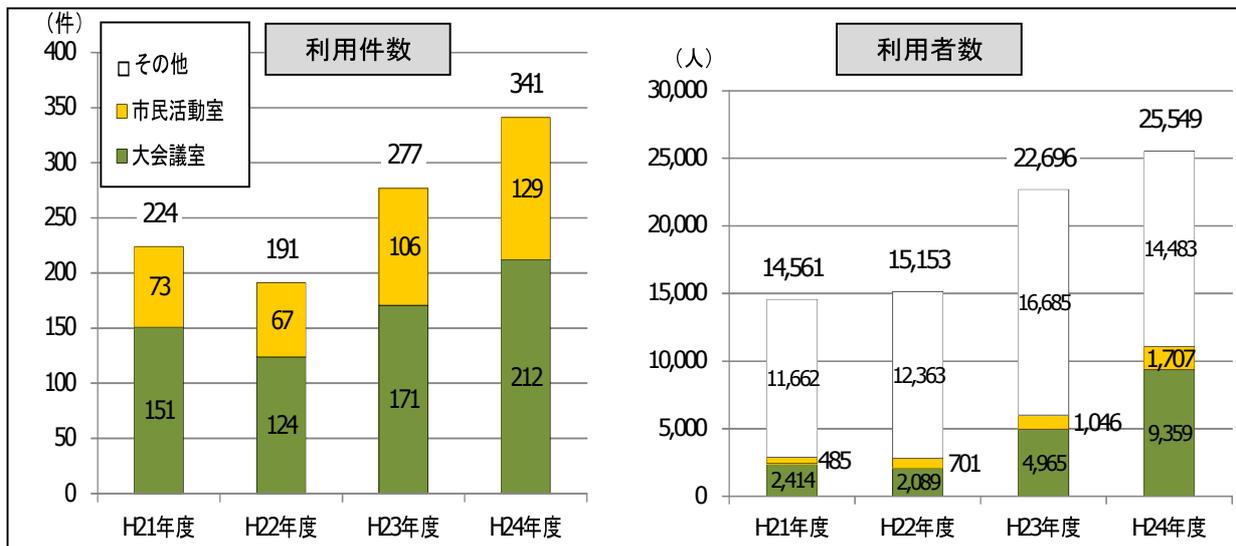
本施設は、新基準の建物で比較的新しく建物の安全性の問題はありません。バリアフリーの対応や環境対応については一部完了していないものもあるため、今後の計画的な改修等による対応が求められます。

② 利用状況

UR都市機構が管理していた期間にあたる、平成21年度から平成24年度までの年間利用件数の推移をみると、平成22年度191件から平成24年度341件まで増加傾向となっています。

利用者数の推移をみると、平成21年度では約1万5,000人でしたが、平成24年度は約2万6,000人と年々増加しています。

利用件数・利用者数の推移



### 3) まとめ

- 本施設は、耐震性能などに問題はありません。
  - 水辺のまちづくり館は、日本初の治水とまちづくりが融合した広大な親水空間に立地しており、水辺という観光資源や環境資源が最大限に活用できるという利点を保有しています。また、近隣には日本最大級の規模と集客力を誇る大型ショッピングモールもあります。
- このように、水辺のまちづくり館周辺は、観光推進の視点からも高いポテンシャルを有していることから、本市の観光拠点として隣接する大相模調節池を活用した多彩な観光事業を展開するとともに、様々な観光情報を発信し、観光推進と賑わいの創出を図っていきます。

## （36）インフラ

## 道 路

## ■ 道路施設

本市の道路網の骨格は、一般国道4号、主要地方道足立越谷線、一般県道越谷八潮線からなり、周辺幹線道路の都市計画道路東埼玉道路ほか80路線の整備によりネットワークの形成が進んでいます。

また、日常生活において必要不可欠な生活道路である市道は、平成24年度末現在、8,369路線、総延長1,233.4kmとなっています。そのうち、舗装道路線延長は1,083.3km、道路面積7.4km<sup>2</sup>を整備しています。

## 道路施設一覧

種別	路線数	路線長 (km)	舗装道延長 (km)	舗装道面積 (km <sup>2</sup> )
1級	19	53.3	51.8	0.6
2級	43	54.7	53.3	0.6
その他	8,307	1,125.4	978.2	6.2
合計	8,369	1,233.4	1,083.3	7.4

出典：平成24年度 道路現況調書

## ■ 路面状況

本市の道路は、整備した後の維持管理について、劣化が進行してきた箇所から修繕を行う、「事後保全型」の管理を行ってきました。しかし、この方法では、傷みがひどくなってからの改修であるため、高額な費用が必要になったり、場合によっては事故の原因になる可能性もあります。

今後は舗装が傷む前に修繕を行い、計画的な管理を行う「予防保全型」の管理が必要となります。

そこで、平成25年度に、市内の1・2級道路及びバス路線について、舗装の路面の調査（路面性状調査）を行いました。調査内容はひび割れやわだち掘れの状況等を確認し、舗装の状況を評価しました。

## 橋 梁

## ■ 橋梁の現状

本市が管理する橋梁は、高度経済成長期に架けられたものが多く、その後も道路整備と合わせ、順次整備を行い、平成24年度末時点で450橋を設置しています。

管理橋梁：450橋

橋梁延長：4.3km

橋梁面積：48千m<sup>2</sup>



大砂橋

## ■ 橋梁長寿命化修繕計画

本市では、事後保全型で橋の維持管理を行っていましたが、計画的に修繕を行う予防保全型の管理へ切り替えました。

現在は、道路交通網への影響の大きさを考え、橋長15m以上の橋梁（41橋）を対象として、橋梁の長寿命化を含めた最適な維持管理を実施するため、「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な管理を行っています。

### 橋梁長寿命化修繕計画（平成23年度）

対象橋梁：41橋（橋長15m以上の重要橋）

対象面積：21km<sup>2</sup>

長期計画：50年間の管理方針の設定

中期計画：10年間の点検、修繕・架替えの具体的な時期の設定

図表 橋長15m以上の橋りょう

NO	名称	竣工年次	橋長(m)	面積(m <sup>2</sup> )	河川名 (跨線名)
1	メ切橋	S12	54.20	203.25	元荒川
2	御殿橋	S37	15.72	56.59	葛西用水
3	柳橋	S37	15.57	62.75	葛西用水
4	新橋	S37	16.36	90.31	葛西用水
5	新平和橋	S40	69.68	733.03	元荒川
6	吉田橋	S42	16.50	132.00	葛西用水
7	平和橋	S41	25.50	266.99	葛西用水
8	流通橋	S44	27.39	356.89	葛西用水
9	川柳橋	S44	25.20	253.26	葛西用水
10	堂面橋	S44	67.67	524.44	大落古利根川
11	東橋	S44	49.32	419.22	新方川
12	三野宮橋	S46	61.91	476.71	元荒川
13	登戸橋	S46	14.67	88.02	葛西用水
14	伊原橋	S47	14.66	58.64	葛西用水
15	増森橋	S53	51.88	471.07	新方川
16	新田橋	S54	56.20	255.15	新方川
17	中堀橋	S55	28.00	253.12	新方川
18	綾瀬新橋	S55	30.10	180.60	綾瀬川
19	千間台駅南陸橋	S56	159.57	1,436.13	東武鉄道伊勢崎線
20	間久里新田橋	S57	48.20	443.44	新方川
21	七間橋	S59	16.00	64.00	出羽堀
22	宮野橋	S59	50.70	329.55	新方川
23	鷹匠橋	S59	51.00	561.00	新方川
24	城之上橋	S62	51.00	484.50	新方川
25	流通団地橋	S63	15.88	365.24	葛西用水
26	念佛橋	H2	45.10	496.10	新方川
27	新栄橋	H2	45.60	501.60	新方川
28	白鷺橋	H2	49.00	661.50	新方川
29	大杉橋	H2	48.20	530.20	新方川
30	向畑橋	H3	45.60	501.60	新方川
31	千代田橋	H5	52.50	787.50	新方川
32	不動橋	H6	134.00	1,742.00	元荒川
33	一ノ橋	H6	56.20	674.40	綾瀬川
34	廣橋	H8	45.30	498.30	新方川
35	ふれあい橋	H9	104.70	1,282.58	大落古利根川
36	新宮前橋	H9	63.90	830.70	元荒川
37	佐藤橋	H15	59.00	472.00	綾瀬川
38	大砂橋	H17	100.00	2,250.00	元荒川
39	御道橋	H18	16.90	121.68	葛西用水
40	こあじさし橋	H20	33.90	779.70	大相模調整池
41	かわせみ橋	H20	29.50	324.50	大相模調整池
合計			1,962.28	21,020.26	

## 下水道

## ■ 下水道施設

本市の下水道事業は、昭和34年4月に施行された下水道法に基づき、昭和39年2月に全体面積1,022haの合流式による、越谷下水道全体計画を策定したのが始まりです。昭和39年8月、中部排水区の計画決定を行い中部第一下水路として事業に着手し、昭和45年度までに越谷旧市街地の整備がほぼ完了しました。

その後、昭和47年、県の中川流域下水道事業計画にあわせて流域関連公共下水道整備事業に着手し、今日では、概ね既成市街地において供用が開始され、平成25年3月末現在、処理面積2,696ha、下水道普及率82.4%、水洗化率94.0%となっています。

## 公共下水道整備状況

		H25.3末時点				
項目	年度	H20	H21	H22	H23	H24
整備管渠延長(km)	当該年度	7	2	1	5	11
	累計	873	875	876	881	892
供用開始面積(ha)	当該年度	12	13	34	18	9
	累計	2,622	2,635	2,669	2,687	2,696
普及率(%)	人口	81.6	81.8	82.1	82.3	82.4
水洗化率(%)	人口	92.7	93.2	93.7	93.6	94.0

資料：下水道課

また、本市の下水道の雨水につきましては、浸水被害の軽減を目的として、昭和46年度に都市下水路として認可を受け、昭和47年度から事業を実施し、現在、全体計画区域4,933haのうち、2,728haについて事業認可を取得し、事業を進めています。平成24年度末での整備面積は約1,796haで、事業認可区域面積2,728haに対する事業進捗率は、約65.8%となっています。

## 公共下水道(雨水)整備状況

		H25.3末時点				
項目		H20	H21	H22	H23	H24
①管渠整備延長(m)	当該年度	1,212.9	2,327.2	1,108.8	2,218.9	1,585.1
②整備面積(ha)	当該年度	13.1	23.3	27.3	28.8	20.6
	累計	1,696.1	1,719.4	1,746.7	1,775.5	1,796.1
③整備率(②/④×100)(%)	累計	62.2	63.0	64.0	65.1	65.8
④認可面積	2,728ha					

資料：治水課

## ■ ポンプ場

### 汚水中継ポンプ場概要

下水道は自然流下を原則としますが、適当な地表勾配がない場合や、道路内に他の占用障害物がある場合においては、下流側の下水道管の埋設位置が著しく深くなることがあります。このような場合、建設・維持管理両面において不経済となることから、下水道管の途中にポンプ場を設け、一旦下水を地表近くまでくみ上げ、再び浅い埋設位置から下水を自然流下させることがあります。

本市の汚水が流入する中川流域下水道中央幹線は、北隣の春日部市から入り、市のほぼ中心を縦断しながら南下し、草加市へと続いています。その間、本市の地形がほぼ平坦であることなどから、中継ポンプ場を設置しています。

### 汚水ポンプ場一覧

名 称	所在地	供用開始年月日	ポンプ能力 m <sup>3</sup> /分
千間台第一ポンプ場	千間台西4-4	S63. 4	14.10
千間台第二ポンプ場	千間台西1-12-3	S47. 4	4.00
間久里ポンプ場	千間台東3-33-1	H4. 3	33.28
鷺高ポンプ場	東大沢2-24-18	H1. 4	60.00
大沢ポンプ場	東大沢4-31-8	H1. 4	4.60
花田ポンプ場	花田3-7-2	S63. 4	3.96
東越谷第一ポンプ場	東越谷2-13	H元. 4	46.00
東越谷第二ポンプ場	宮前1-1-12	S53. 4	5.00
東越谷第三ポンプ場	宮前1-18-1の一部	H3. 6	4.50
越谷第二ポンプ場	宮本町3-1-3	H2. 3	18.30
恩間ポンプ場	恩間614-1	H11. 4	11.97
レイクタウン第一ポンプ場	レイクタウン1-1-1	H17. 4	6.54

資料：下水道課

## 雨水ポンプ場概要

雨水は道路側溝や公共雨水柵（ます）から雨水本管に流入し、平常時は自然流下にて河川へ放流されます。しかし、台風等によって、河川の水位が上昇した場合は、自然流下で放流が出来なくなるため、ポンプ場にて雨水をくみ上げて河川へ放流し、市街地が浸水することを防止します。

## 雨水ポンプ場一覧

名 称	所在地	供用開始年月日	ポンプ能力 m <sup>3</sup> /分
越谷第一ポンプ場	南越谷3-23	S56.4	3.94
御料堀ポンプ場	弥栄町1-195-123	S63.4	10.00
新川ポンプ場	大間野町1-112-3	H33	3.00
出羽堀ポンプ場	大字蒲生3889	H43	8.20
左敷田ポンプ場	大字南荻島610-1	H64	0.90
千間台第一ポンプ場	千間台西4-4	H94	2.40
外野合ポンプ場	大字南荻島4013-8	H9.10	0.70
上間久里ポンプ場	大字上間久里228-6	H113	2.18
塚田ポンプ場	大字上間久里214-5	H123	1.80
東町ポンプ場	東町3-505	H213	3.13
東越谷雨水ポンプ場	東越谷9-3160-7	H183	1.38

資料：治水課

## 公園

## ■ 公園等の施設

都市公園は、公園緑地等の中でも持続性の担保された都市の重要な社会資本の一つとして「都市公園法」に基づき整備を進めています。その他都市公園以外にもふれあい公園や緑道整備を行っています。平成25年4月1日現在では、都市公園とふれあい公園等を合わせると572箇所、面積約191.22haで、市民一人当たりでは約5.79㎡の公園緑地等を確保しており、誰もが利用しやすい安全な公園づくりに努めています。

公園緑地等の一覧（平成25年4月1日現在）

種別・名称	箇所数	面積計（ha）	市民一人当たりの面積（㎡/人）
運動公園	1	15.79	0.48
総合公園	3	32.48	0.98
地区公園	1	1.40	0.04
近隣公園	20	32.85	0.99
街区公園	107	24.17	0.73
緑地	1	1.00	0.03
児童遊園（市所有）	301	7.50	0.23
児童遊園（借地）	32	2.61	0.08
境内地・集会所等	31	0.78	0.02
ふれあい公園（借地）	58	10.52	0.31
緑道	15	31.02	0.94
埼玉県の公園	2	31.10	0.94
計	572	191.22	5.79

※人口の基準は330,428人として算出（平成25年4月1日現在）

※ふれあい公園（越谷市ふれあい公園整備要綱に基づき整備された借地公園）

## ■ 公園等の整備状況

本市は、公園等として都市公園以外にふれあい公園や河川沿いの緑道等を整備しており、平成21年4月1日時点の公園面積を1.0とした場合、平成25年4月1日現在の伸び率は1.09で約15.3haの増加となっております。現在は、区画整理事業地内における街区公園及び（仮称）増林公園、（仮称）大成町公園、八条用水緑道、綾瀬川緑道等に重点をおいて整備しており、引き続き安心して利用できる公園づくりに努めていきます。

各年度の公園面積の推移

（各年4月1日現在）

項目	H21	H22	H23	H24	H25
公園面積（ha）	175.89	179.25	179.69	182.95	191.22
一人当たりの面積（㎡/人）	5.43	5.48	5.47	5.55	5.79
H21を基準とした伸び率	1.00	1.02	1.02	1.04	1.09